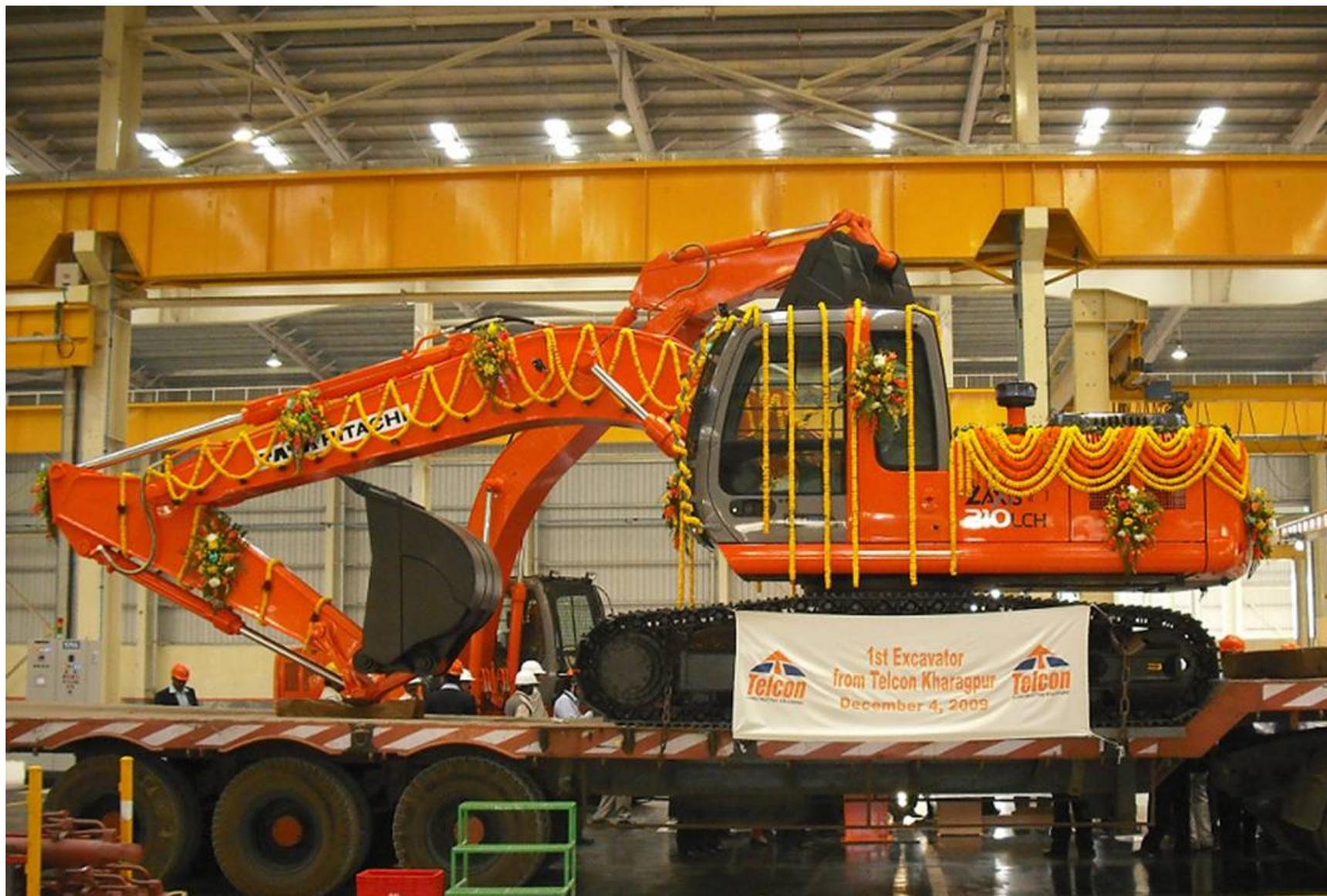


# 平成22年(2010年)3月期 第3四半期累計期間決算発表



カラグプール工場開所式(ショベル1号機)

(無断転載を禁じます)

第3Q (10-12月)  
期) 営業利益  
計画比△51億

<要因>

売価未達△6億  
半分は日本、競争  
激化

拡販値引△8億  
欧で一部売れにく  
い機種を値引き

資材費

低減はほぼ予定通  
り、低減した資材  
の使用時期が4Q  
へずれ込み

棚卸資産未実現利  
益影響額 △21

中国の増産が計画  
より早まりコンポ  
ネント在庫積み上がる

豪マイニング用機械顧  
客都合で4Qへ納  
入ずれ

・4Qへの影響

・資材費低減遅れ、  
棚卸資産未実現利  
益は4Qで解消予定

・4Qは中国のウエ  
イト高まり構成差

好転の見込み

# I. 決算の概要

(単位:億円)

	第3四半期累計			当期内訳	
	09年	08年	対前年 同期比	09年 第2Q累計	09年 第3Q
売上高	4,137	6,002	69%	2,723	1,414
営業利益	18	567	3%	9	9
経常利益	△9	548	-	△26	17
当期純利益	△88	255	-	△73	△15
為替	売上計上レート(円/ドル)	103.56		95.64	89.32
	予約反映後レート(円/ドル)	104.29		94.43	93.83
	売上計上レート(円/ユーロ)	158.45		132.66	132.32
	予約反映後レート(円/ユーロ)	159.63		133.11	134.70

営業利益の差異説明

(億円)

[対外時] [実績] [差額]

60 9 -51

売価未達 -6

拡販値引 -8

資材費低減反映遅れ -5

間接費低減 6

棚卸資産未実現  
利益影響額 -21

TCM 4

構成差(その他) -21

注. ( )内は09年10月計画値

# 油圧ショベル世界需要推移

•前回予想より (台/年) 3月締ベース

上方修正

120,600台

→132,600台 240,000

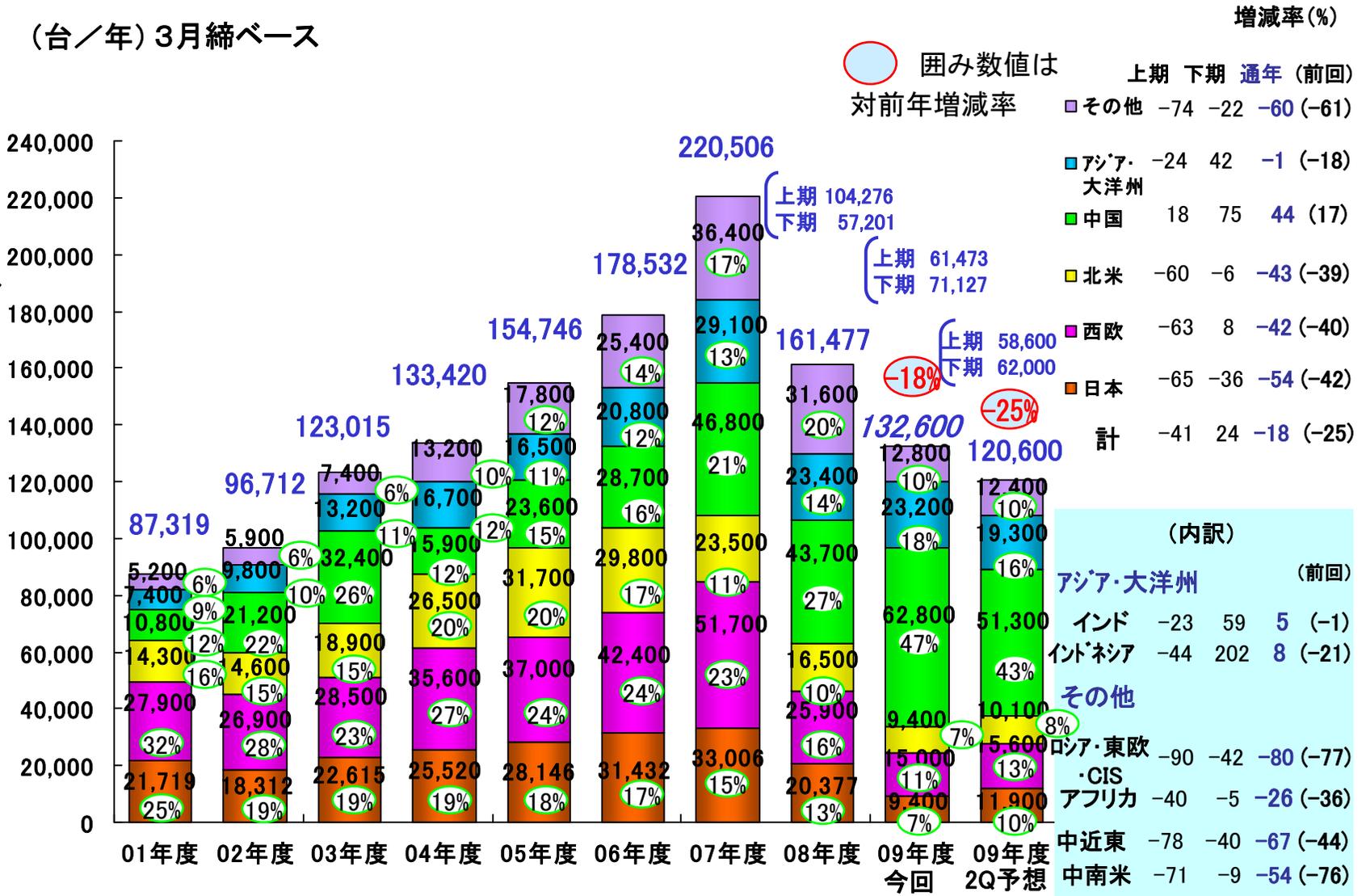
•中国は足元非常に強い 220,000

•インドネシア、インド、マレーシア、中南米で上方修正 200,000  
180,000

•日本は1971年  
以来の10000台  
割れ 160,000  
140,000

•北米は回復の  
期待あるが足  
元では微減 120,000  
100,000

•新興国のウエ  
イトがますます高  
まる 80,000  
60,000  
40,000  
20,000  
0



○ 囲み数値は  
対前年増減率

上期 104,276  
下期 57,201

上期 61,473  
下期 71,127

上期 58,600  
下期 62,000

(内訳)

	上期	下期	通年 (前回)
アジア・大洋州	-23	59	5 (-1)
インドネシア	-44	202	8 (-21)
その他			
ロシア・東欧	-90	-42	-80 (-77)
・CIS	-40	-5	-26 (-36)
アフリカ	-78	-40	-67 (-44)
中近東	-71	-9	-54 (-76)

# 要約連結損益計算書

(単位:億円)

	09年度 第3Q累計	08年度 第3Q累計	対前年同期比	
			金額	%
売上高	4,137	6,002	△1,864	69%
売上原価	3,252	4,295	△1,042	76%
販売費・管理費	867	1,140	△273	76%
営業利益	18	567	△549	3%
営業外損益	△27	△20	△7	140%
経常利益	△9	548	△557	—
特別損益	△4	△35	31	12%
法人税等	40	204	△164	20%
少数株主損益	△34	△55	20	63%
当期純利益	△88	255	△342	—

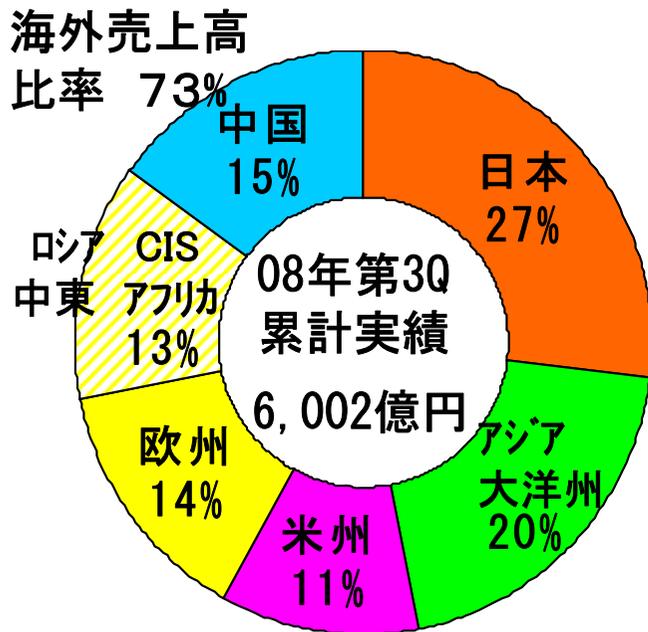
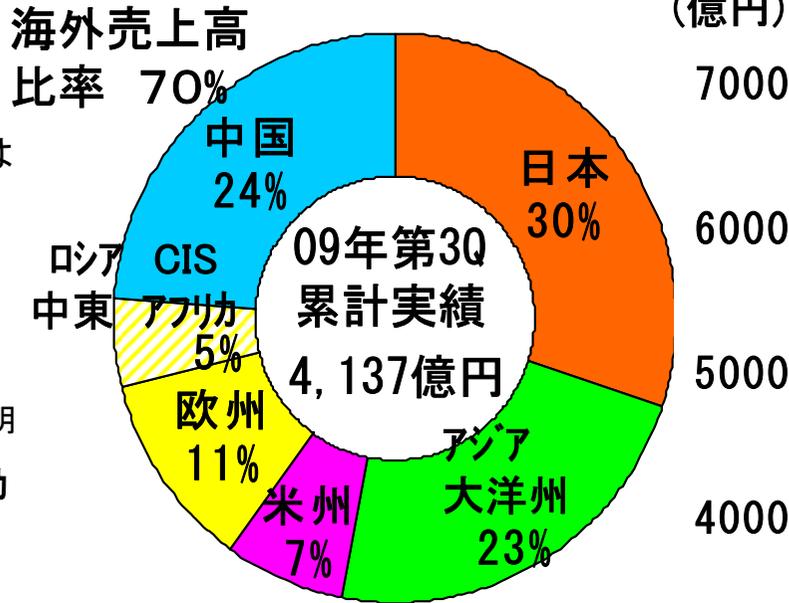
# 地域別売上比率・売上高(連結)

•中国  
油圧シヨベル需要は大幅増だが売上は11%増  
為替と現地関連会社在庫調整のため  
→次頁にて詳細説明

•ロシアCIS中東アフリカ  
ロシアCISへの出荷止めが主因となり売上高△71%

•日本  
部品サービス、レンタル等ビジネス等多岐にわたっており売上高△23%にとどまる

•海外売上高比率70%  
中国、アジア大洋州、日本の割合高まる



(億円)

7000

6000

5000

4000

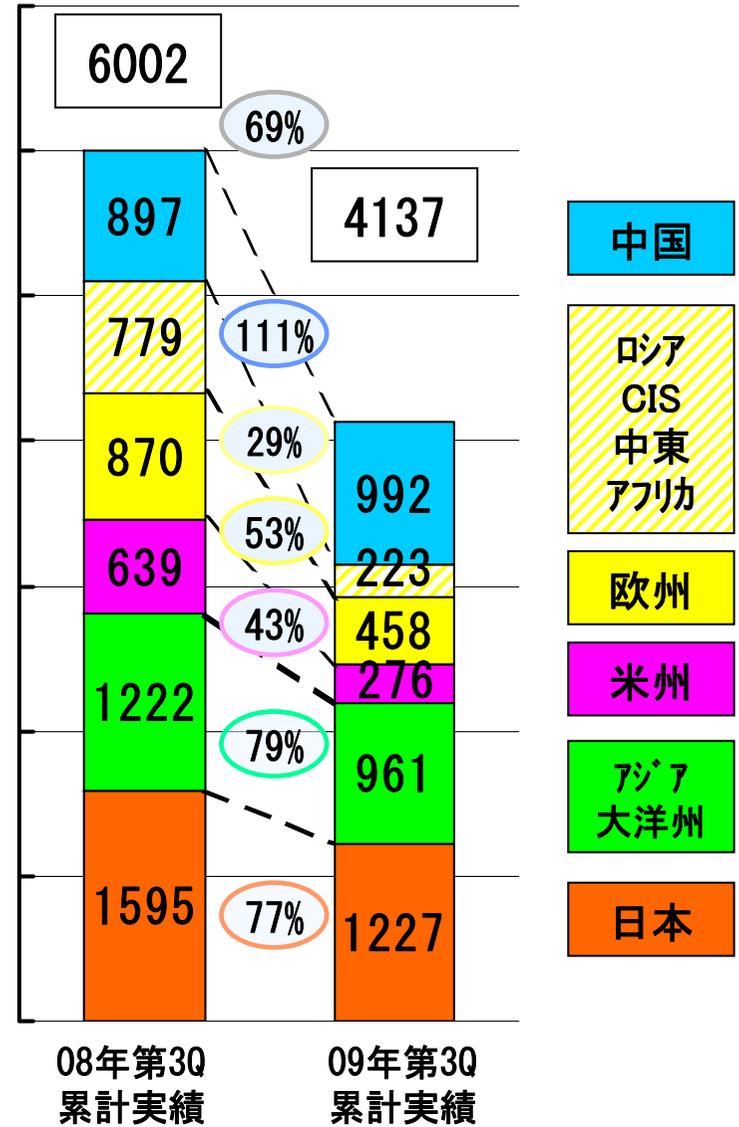
3000

2000

1000

0

(対前年比)



08年第3Q 累計実績

09年第3Q 累計実績

(注1) % は対前年伸び率

	08年度3Q累計	09年度3Q累計	増減	対前年比
連結売上高	897億円	992億円	95億円	111%

コンポーネント

日立建機中国  
(製造会社)

日立建機上海  
(卸売会社)

代理店

エンドユーザー

日立建機

完成車

	08年度	09年度	増減	対前年比
売上高	592億円	720億円	128億円	122%
為替レート	14.932	13.650		
販売台数は対前年33%の増				

売上高は8%強の円高を加味すると133%となり、販売台数も133%

永立建機  
(関連会社)

在庫調整による減

	08年度	09年度	増減	対前年比
売上高	171億円	128億円	-43億円	75%
永立建機への販売台数は対前年11%の減				

現地での販売台数は対前年57%の増

→ : 連結売上高(グループ外売上高)

# 所在地別 売上高内訳(実績)

(単位:億円)

売上高増減の  
主な要因

(08-3Q vs 09-3Q)

- 日立建機△1981  
国内 対前年60%、  
輸出 37%→世界的  
な在庫調整のため
- 国内製造△549億  
日立建機ティアラ、日  
立住友重機械建機  
クレーンの在庫調整
- 海外製造△971億  
ヨーロッパ△約700億
- 海外・販売サービス  
△371億  
中国は増えたが  
南ア、豪、米の各  
社がそれぞれ減収

	会社数		売上高				
	09第3Q 実績	08第3Q 実績	09第3Q累計 実績(A)	08第3Q累計 実績(B)	増減 (A-B)	増減率 (A/B)	
日立建機	—	—	1,481	3,462	△1,981	43%	
国内	製造	7	6	393	942	△549	42%
	レンタル	1	1	253	265	△12	95%
	ソフト事業他	8	8	479	881	△402	54%
計	16	15	1,125	2,088	△963	54%	
海外	製造	5	5	1,383	2,354	△971	59%
販売・サービス	18	17	2,131	2,502	△371	85%	
計	23	22	3,514	4,856	△1,342	72%	
TCMグループ 注1	14	25	544	1,038	△494	52%	
合計	53	62	6,664	11,444	△4,780	58%	
連結調整			△2,527	△5,442	2,915	46%	
連結売上高			4,137	6,002	△1,865	69%	

注1) TCMグループ連結数値

# 要約連結損益計算書

(単位:億円)

•営業利益率  
9.5%→0.4%

•為替の円高、上期の極端な操業不足により比例費・固定費低減努力追いつかず、売上原価率、販売費・管理費比率ともに悪化

	09年度 第3Q累計		08年度 第3Q累計		対前年同期比	
	金額	%	金額	%	金額	%
売上高	4,137		6,002		△1,864	69%
売上原価	(78.6%) 3,252		(71.6%) 4,295		△1,042	76%
販売費・管理費	(21.0%) 867		(19.0%) 1,140		△273	76%
営業利益	(0.4%) 18		(9.5%) 567		△549	3%
営業外損益	△27		△20		△7	140%
経常利益	△9		548		△557	-
特別損益	△4		△35		31	12%
法人税等	40		204		△164	20%
少数株主損益	△34		△55		20	63%
当期純利益	△88		255		△342	-

# 所在地別 売上高・営業損益内訳(実績)

(単位:億円)

・日立建機△368億  
売上減少および為替の影響

・国内製造△90億  
クレーン、ミニショベル関連悪化が大きく影響

・海外製造△96億  
クレーン会社△74億が大きく影響

・海外販売・サービス  
中国上海関連21億の増、他の減益により△57億

・連結調整94億  
棚卸資産の未実現利益の効果44億

	売上高			営業損益		
	09第3Q累計実績(A)	08第3Q累計実績(B)	増減(A-B)	09第3Q累計実績(C)	08第3Q累計実績(D)	増減(C-D)
日立建機	1,481	3,462	△1,981	△265	103	△368
国内製造	393	942	△549	△41	49	△90
国内レンタル	253	265	△12	△5	△11	6
国内ソフト事業他	479	881	△402	17	28	△11
計	1,125	2,088	△963	△29	66	△95
海外製造	1,383	2,354	△971	42	138	△96
海外販売・サービス	2,131	2,502	△371	178	235	△57
計	3,514	4,856	△1,342	220	373	△153
T C Mグループ 注1	544	1,038	△494	△17	10	△27
合計	6,664	11,444	△4,780	△91	552	△643
連結調整	△2,527	△5,442	2,915	109	15	94
連結売上高・営業利益	4,137	6,002	△1,865	18	567	△549

注1) T C Mグループ連結数値

# 要約連結損益計算書

(単位:億円)

	09年度 第3Q累計	08年度 第3Q累計	対前年同期比	
			金額	%
高 上 売	4,137	6,002	△1,864	69%
原 価	3,252	4,295	△1,042	76%
販 売 費 ・ 管 理 費	867	1,140	△273	76%
営 業 利 益	18	567	△549	3%
営 業 外 損 益	△27	△20	△7	140%
経 常 利 益	△9	548	△557	—
特 別 損 益	△4	△35	31	12%
法 人 税 等	40	204	△164	20%
少 数 株 主 損 益	△34	△55	20	63%
当 期 純 利 益	△88	255	△342	—

## 連結営業外損益比較(実績)

(単位:億円)

•金融収支

中国上海のファイナンス事業をリーシング会社に移管したことにより営業外金融収支は減少

•持分法投資損益

アメリカ ディア日立社の減少

•為替差損益

日本での為替予約の効果

	09年度 第3Q累計	08年度 第3Q累計	増減
金融収支	△37	△19	△18
持分法による投資損益	△10	△1	△9
為替差損益	7	△1	8
その他	13	1	12
計	△27	△20	△7

# 要約連結損益計算書

(単位:億円)

	09年度 第3Q累計		08年度 第3Q累計		対前年同期比	
					金額	%
売上高		4,137		6,002	△1,864	69%
売上原価	(78.6%)	3,252	(71.6%)	4,295	△1,042	76%
販売費・管理費	(21.0%)	867	(19.0%)	1,140	△273	76%
営業利益	(0.4%)	18	(9.5%)	567	△549	3%
営業外損益		△27		△20	△7	140%
経常利益	(△0.2%)	△9	(9.1%)	548	△557	-
特別損益		△4		△35	31	12%
法人税等		40		204	△164	20%
少数株主損益		△34		△55	20	63%
当期純利益	(△2.1%)	△88	(4.2%)	255	△342	-

# 連結損益変動要因(実績)

## ・経常利益

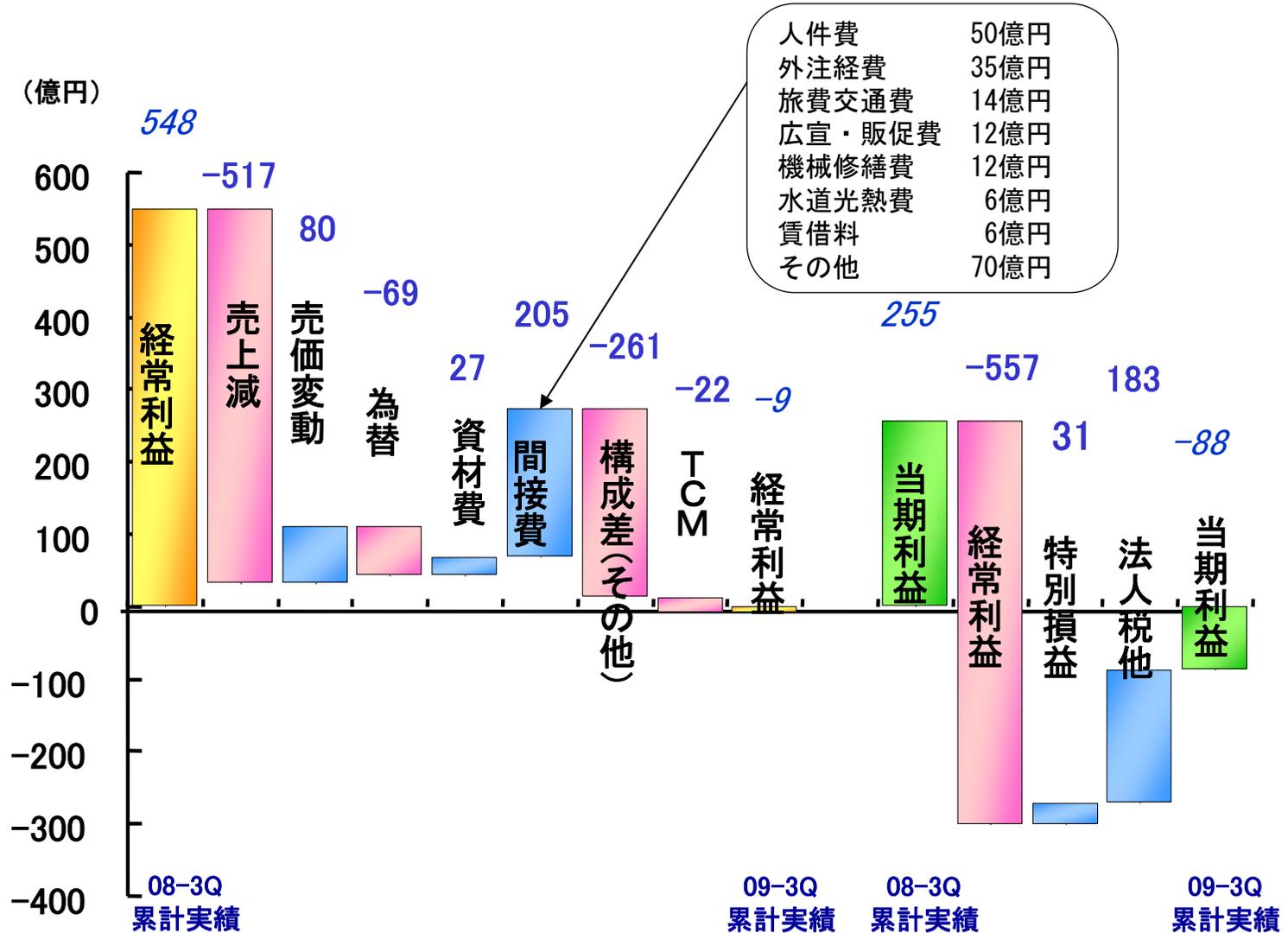
前年経常利益548億が売上減△517億、為替△69億等の影響により△9億

## ・主な変動要因

売価：売価アップは昨年値上げ分の効果

資材費：契約ベースでは計画通り低減。低減効果は第4四半期に。

間接費：計画低減率10%に対し14.5%の低減。



# 要約連結貸借対照表

(単位:億円)

## •資産合計

受手・売掛金、リース債権・投資資産合計は08年度末と比較し殆ど変化なし。

たな卸資産が541億減少、資産合計は08年度末と比較し429億減少。

## •純資産

08年度末と比較し60億減少したが、09年第3Q末は自己資本比率36.4%と改善。

## •ネット有利子負債

フリーキャッシュフロー改善により299億減少。ネットD/Eレシオも0.89→0.79と改善。

	(A) 09年第3Q	(B) 08年度	(C) 08年第3Q	(A-B) 増減		(D) 09年第3Q	(E) 08年度	(F) 08年第3Q	(D-E) 増減
現金及び預金	540	401	455	139	支手・買掛金	884	1,004	1,770	△120
受手・売掛金	1,278	1,759	1,769	△481	その他	2,143	3,140	2,388	△997
リース債権・投資資産	685	228	-	457	流動負債計	3,027	4,144	4,158	△1,117
たな卸資産	2,142	2,683	2,917	△541	固定負債計	1,708	960	1,152	748
その他	306	317	646	△11	負債合計	4,735	5,104	5,310	△369
流動資産計	4,951	5,388	5,787	△437	少数株主持分	333	368	371	△35
有形固定資産	2,219	2,270	2,238	△51	資本金・剰余金	3,114	3,224	3,296	△110
無形固定資産	297	262	228	35	その他	△197	△282	△229	85
投資その他	518	494	495	24	(自己資本比率)	(36.4%)	(34.9%)	(35.0%)	(1.5%)
固定資産計	3,034	3,026	2,961	8	純資産合計	3,250	3,310	3,438	△60
資産合計	7,985	8,414	8,748	△429	負債・純資産合計	7,985	8,414	8,748	△429
						(35.6%)	(35.7%)	(28.0%)	(△0.1%)
					有利子負債計	2,845	3,006	2,452	△161
					現金及び預金	540	401	455	139
					ネット有利子負債	(28.9%) 2,306	(31.0%) 2,605	(22.8%) 1,997	(△2.1%) △299
					ネットD/Eレシオ	0.79	0.89	0.65	△0.10

# 連結キャッシュフロー

(単位:億円)

## ・営業キャッシュフロー

利益は減少したが、たな卸資産圧縮により、運転資金が前年第3四半期より846億改善。また法人税等の支払いも減少し、570億の黒字。

## ・フリーキャッシュフロー

投資活動キャッシュフローが減少、フリーキャッシュフローは412億と前年度より1,100億改善。

フリーキャッシュフローの用途は、1/3を配当金・利息等の支払、1/3を借入金の返済、残りを手元資金に積み増し。

区 分	09年第3Q 累計		08年第3Q 累計		増減	
税金等調整前当期純損益		△13		513		△526
減価償却費	260	273	761	248	△501	25
受取手形及び売掛金の増減額		455		392		63
リース債権及びリース投資資産の増減額		△484		-		△484
たな卸資産の増減額		583		△1,226		1,809
支払手形及び買掛金の増減額	412	△142	△434	400	846	△542
法人税等の支払額		△53		△315		262
その他		△49		△229		180
<b>営業活動</b>		<b>570</b>		<b>△217</b>		<b>787</b>
有形固定資産の取得による支出		△149		△412		263
有形固定資産の売却による収入		6		6		0
投資有価証券の取得による支出		△1		△42		41
投資有価証券の売却による収入		2		0		2
その他		△16		△23		7
<b>投資活動</b>		<b>△158</b>		<b>△471</b>		<b>313</b>
<b>フリーキャッシュフロー</b>		<b>412</b>		<b>△688</b>		<b>1,100</b>
短期借入金の増減額		△827		551		△1,378
長期借入金の増減額		200		296		△96
社債の発行による収入		498		0		498
社債の償還による支出	△134	△5	717	△130	△851	125
配当金の支払		△93		△129		36
利息の支払等	△142	△49	△215	△86	73	37
<b>財務活動</b>		<b>△276</b>		<b>502</b>		<b>△778</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額		3		△46		49
現金及び現金同等物の増減額		139		△232		371
現金及び現金同等物期首残高		401		687		△286
現金及び現金同等物期末残高		540		455		85

# 2009年度施策の状況

0.在庫縮減 → キャッシュ創出  
及びB/Sの改善

順調

1.間接費の削減 → 対前年度10%低減

3Q累計では14.5%達成

2.比例費低減 → 当年度年平均5%低減

契約ベースでは計画通り

3.シェアアップによる売上増 → 1%程度

過達できる(2%程度)

4.当年度中売価アップ → わずかしか織込んでいないが、厳しめ

完